



岩船魂

めざす岩船っ子の姿（教育目標） 「深く考え 優しく思いやり たくましくやりぬく子」

村上市立岩船小学校
学校だより No.8
令和5年12月1日
<http://www.iwafune.ne.jp/~iwax2-10>
E-mail:school@iwafune.e.murakami.ed.jp

『当たり前を続けよう』

校長 佐藤 進

11月3日（金）に、創立150周年記念式典と、小中合同による「いわふね合唱祭」がありました。当日は、多くの来賓、保護者、地域の皆様のご出席を得て、盛会に終えることができました。最後に児童生徒、来場者全員で合唱した「岩船たからうた」は、ホールを震わせるほど圧巻の歌声でした。岩船の心を一つにする「岩船たからうた」を、これからも歌い継いでいってほしいと願ったフィナーレでした。ご出席いただいた皆様、たいへんありがとうございました。



最近、元気な声でいさつをする子が増えました。11月になって、八日市の子どもたちがあいさつ当番となり、毎朝元気なあいさつを届けてくれたことが一つの要因かもしれません。また、通学班長が進んであいさつをしてくれることで、周りの子どもたちも同じようにあいさつをしているということもあるでしょう。それが「当たり前」になっていることにうれしさを感じます。

また、雑巾がきれいにかかっていることも、とてもうれしいことです。年度当初は、ただかかっていればよいという雑巾があちらこちらに見受けられ、見た目にも美しくない雑巾の姿でした。ところが、最近ふと気が付くと、雑巾がきれいにかかっているのです。雑巾がきれいにかかっているというのは、見過ごすと「当たり前」に見えます。しかし、そこには、日々清掃後に、「きれいにかかっていると気持ちいいね。」「きれいにかかっているうれしいよ。ありがとう。」のような言葉がけが、担当の先生から繰り返しかけられ



てきたからなのでしょう。もしかしたら、担当の先生が後からかけ直してくれていたのかもしれません。しかし、今ではどの子も「雑巾をかける時」には、意識してきれいにかけることを心がけるようになってきたのではないでしょうか。それが、「当たり前」として身に付いてきています。

「当たり前」は「当たり前」には身に付きません。「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」という格言があるように、誰かが「当たり前」のことを自ら率先して行い、指導し、できたことを褒めたり、認めたりすることを繰り返さなければ「当たり前」にはなりません。

学校では「当たり前」がたくさんあります。「あいさつをする」「時間を守る」「廊下を歩く」など、なかなか身に付くまでには時間がかかります。しかし、途中で諦めることなく続けることで、落ち着いた教育環境になり、気持ちよく学校生活が送れるようになります。「当たり前を疑う」という場面も時には必要ですが、岩船小の子どもたちには、「当たり前」のことを「当たり前」にできる子どもに育ってほしいと願っています。

11月のトピックス

9日 韓国ローラースポーツ連盟との交流会

6年生がスケートパークにて、上記の韓国の選手団と交流会を行いました。11月に韓国のナショナルチームが1か月村上市のスケートパークで練習、滞在しているため、地元の小学生との交流を図る機会に、岩船小の6年生が応募し、見事にチャンスを得ることができました。韓国的小・中・高・大学生の年代代表各1名ずつの4人とコーチの方々とあいさつを交わした後で、前半後半に分かれ、モルックというスポーツやスケートボードの基本を教えてもらいました。子どもたちは緊張の中にも、楽しそうな顔がたくさんあり充実したひと時を過ごすことができました。



← 参加者全員で記念撮影

韓国との交流会 五十嵐 乃愛

私は実際に韓国の人とスケートボードやモルックをしてとても楽しかったです。

最初は結構緊張したけど、スケートボードを教えてくれた韓国の選手が、手を押されたり応援したりしてくれてとてもやりやすくてうれしかったし、緊張もほぐれました。

モルックでは韓国の選手たちと一緒にになって協力してやりました。韓国の選手たちは上手でびっくりしました。また機会があったら、外国人の人と交流したいです。

14日 5年一夜干し作り体験

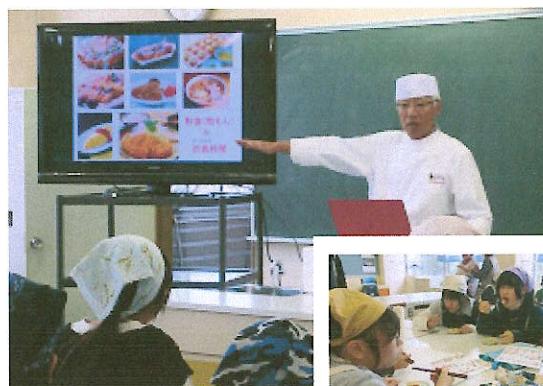
岩船漁協で、毎年恒例の5年生の一夜干し体験を行いました。子どもたちは、漁協の方から説明を聞いた後、ヤナギカレイの一夜干し作りにチャレンジしました。昨年塩引き作りを行ったせいか大変スムーズに行っていました。カレイの頭と内臓を取り、金たわしで鱗をきれいにとりました。一人5匹ずつ作りました。岩船ならではの体験に子どもたちは目を輝かせて活動していました。ご協力いただいた岩船漁協の皆様、大変ありがとうございました。



24日 5.6年和食出前授業

Teny 新潟一番でおなじみの新潟調理師専門学校の鍵富茂先生を講師に、和食出前授業を行いました。4時間目に和食について、スライドで説明していただいた後で、昆布や鰹節からとっただしの違いを実際に試食して確認しました。そのだしを使った卵焼きと甘い卵焼きの違いを比べたりもしました。

「和食は世界文化遺産に認定されたが、このままでは絶滅してしまう絶滅危惧種であるためこれから40年50年とみんなで文化を守っていく必要がある。」という講師の言葉に子どもたちは考えさせていました。当日の給食は、「きらっと新潟地場もん献立」ということで「鮭の焼漬け」や「朝日豚の豚汁」など村上産の食材の献立を講師の鍵富先生と一緒に会食し、食について改めて考える1日となりました。



岩船小学校創立 150 周年式典・いわふね合唱祭

11月3日に、村上市民ふれあいセンターで、岩船小中学校合同の行事であるいわふね合唱祭を開催しました。今年度は、入場者の制限を撤廃し、広く地域の方や来賓の方においでいただくことができました。児童生徒、保護者、来賓等約500名が参加し、盛大な式典と合唱祭を見ていただくことができました。合唱祭では、小・中学生の歌声が響き渡り、大勢の方が鑑賞することができ、充実した会となりました。来場された方からは、「もっと聴きたかった。」という感想も多く、大変好評でした。多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。来年は、ふれあいセンターが改修工事のため、同会場での開催はできませんが、よき伝統を今後も引き継いでいきたいと考えています。

いわふね合唱祭の感想 6年 鈴木 亜優

小学校でやる合唱祭は最後だったけど、今までの合唱の中で、一番上手にできたと思います。低音パートは難しかったけど、高音の5年生につられないように歌えたので良かったです。小学校生活最後の合唱祭はとても楽しかったです。

いわふね合唱祭の感想 4年 齊藤 柚希

私たち4年生は、合唱祭で「にじ」と「子どもの世界」を歌いました。4年生は低音パートで歌いました。3年生の時よりもむずかしかったです。本番は、きんちょうしたけど、いつもよりは、大きな声で歌えてうれしかったです。「にじ」の歌では、歌うところによって、声の大きさが変わっていて、きれいな声になっていてよかったです。中学生は一人一人がいろいろな声が出ていてすごいなと思いました。来年は学年が上がつてもっとむずかしいと思うで、来年の6年生を見習って、練習をしていきたいです。



式典の最後に、平井李枝さんが作詞作曲した「岩船たからうた」を参加者全員で合唱しました。

合唱祭にて



1. 2年生の発表↑



3. 4年生の発表↑



5. 6年生の発表↑

17日 いじめ見逃しゼロスクール集会

岩船中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会が、岩船中学校で開かれ、5. 6年生が参加してきました。小学生が、いじめ見逃しゼロの取組を発表した後、中学校生徒会総務による劇を見て、えんたくん（段ボールの大きい円卓をひざの上にのせて話し合い感想を段ボールに書くもの）を使ってグループで話し合いました。慣れないせいか、子どもたちは終始緊張気味ではありましたが、改めていじめに対して深く考えることができた集会でした。



参加児童の感想 5年 阿部 蓉月葉

いじめ見逃しゼロスクール集会に参加して、思ったことは、自分がおもしろいと思って伝えたことでも、相手が嫌な気持ちになることがあることがわかりました。そうならないように相手の表情を見ながらやさしく話したいと思います。また写真を相手に断りなくSNSに載せるのもいけないということも分かりました。実際そんな場面があったら、先生や親に相談するといいと思いました。

令和5年度第3回学校運営協議会の概要(11月20日)

11月20日(月)に、岩船中学校で第3回学校運営協議会が開催されました。中学校の授業参観の後、今年度の取組の進捗状況や、いじめ見逃しゼロスクール集会等について情報交換が行われました。概要について紹介します。



(1) いじめ見逃しゼロスクール集会について

- ・小学生が物怖じせずにとても積極的に発言していた。
- ・中学生がとても上手に小学生をエスコートしていた。
- ・もっと小学生と中学生が関わるような機会を増やしてほしい。

(2) 小中連携について

- ・あいさつ運動等、小学校と中学校がこのようにうまく連携している地域はないと思う。また連携の力も他と比べると強いと思う。

(3) 岩船大祭について

- ・子どもたちが祭りに参加することは、とても有意義な体験である。しかし、祭りでは、きまりがおろそかになることもある。学校生活に悪い影響がないよう周りの大人が「ダメなものはダメ！」と教えることが大切。
- ・地域の人たちも以前より規範意識が高くなっていることはとても良いこと。子どもたちのためにもさらに親世代の規範意識をもっと高めていくことが必要である。

(4) 小中の合併・統合について

- ・令和9年度以降の小学校や中学校の合併・統合の案が村上市より出された。今後地域での検討が必要となってくる。岩船地域も例外ではない。村上地域全体を考えると、岩船地域にベストの案は難しいが、小規模校の良さを活かしたよりベターな合併・統合に向けて進めていきたい。

12月の主な予定

月	火	水	木	金
				1
4	5	6		・全校朝会 ・村上市中央図書館小学校訪問事業
・町内子ども会 ・教育相談週間&人権教育強調週間			7	8 ・学校諸経費等振替日
11	12	13	14	15
・クラブ(最終)	個別懇談①		・個別懇談②	個別懇談③
18	19	20	21	22
個別懇談④	・全校4時間	・全校4時間	・全校4時間 ・給食最終日	・2学期終業式

○23日(土)～1月8日(月)冬休み

※29日(水)～1月3日(水)学校閉庁日 閉庁日の連絡は、村上市教育委員会までお願いします。

Tel 72-6882

1月初めの予定

- 1月 9日(火) ・3学期始業式 ・学校諸経費等振替日
- 10日(水) ・給食開始・発育測定(1~3年)
- 12日(金) ・校内書き初め大会発育測定(4~6年)

